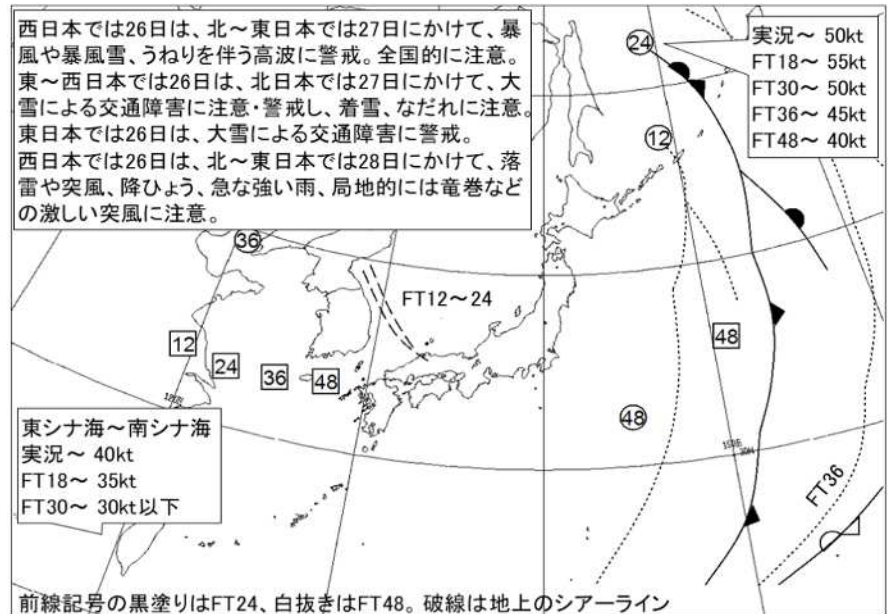


1. 実況上の着目点

- ① 発達中の低気圧が千島近海を北北東進し、前線が日本の東～日本の南にのびている。一方、高気圧が華北にあって、日本付近は強い冬型の気圧配置となっている。
- ② 500hPa 5280m付近で -36°C 以下の寒気を伴うトラフに対応し、低気圧が能登半島付近を東北東進し、日本海西部には日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）が形成されて中国地方～近畿地方の日本海側を指向。中国地方では3時間15cm前後の降雪を観測。
- ③ ①②の強い冬型の気圧配置、



主要じょう乱解説図

低気圧、JPCZの影響により、佐渡市弾崎で26日3時15分に25.1m/sの非常に強い風を観測する等、全国的に強い風や非常に強い風が吹いており、北～西日本の日本海側では大荒れや大しけの所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は27日にかけてオホーツク海を北上し、1項①の高気圧は26日夜には黄海付近に移動して、強い冬型の気圧配置は西から次第に緩む。1項②の低気圧は26日朝までに不明瞭化し、JPCZは26日夜にかけて中国地方を指向して、その後は不明瞭化する。強い冬型の気圧配置、低気圧、JPCZの影響で、雪を伴って非常に強い風が吹き、波がうねりを伴い高くなり大しけとなる所がある。西日本では26日は、北～東日本では27日にかけて、暴風や暴風雪、高波に警戒。南西諸島では26日は、強風や高波に注意。低気圧やJPCZに伴う下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり雷を伴って降水が強まり、大雪となる所がある。東～西日本では26日は、北日本では27日にかけて、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪、なだれ、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。東日本では26日は、大雪による交通障害に警戒。
- ② 2項①の高気圧は28日にかけて西日本付近に移動する。高気圧の縁辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波がうねりを伴い高くなりしける所がある。南西諸島では27日にかけて、東～西日本では27日は、北日本では27～28日は、強風や風雪、高波に注意。
- ③ 27～28日は、500hPa 5340m付近で -36°C 以下の寒気を伴うトラフが、日本海から北陸地方や東北地方を通して日本の東に進む。北～東日本では27～28日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)は無い。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：北陸80、東北70、関東甲信60、北海道・東海50、近畿・中国40、九州北部20cm。
- ③ 波浪(明日まで)：東北・北陸・近畿・中国6、その他広い範囲で5～3m。
- ④ 高潮(明日まで)：北～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。